



株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当 3月31日  
中間配当 9月30日  
その他必要がある場合、あらかじめ公告する一定の日
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
TEL 0120-782-031（フリーダイヤル）
- 公 告 の 方 法 電子公告により行う  
公告掲載URL <http://www.teikokudenki.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関（三井住友信託銀行）にお問合せください。
- 3.未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 帝国電機製作所 〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地  
TEL 0791-75-0411（代表）



株式会社 帝国電機製作所

〔証券コード：6333〕

# Business Report

株 主 の 皆 様 へ

## 第118期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

# 新たなビジネスチャンスを成長への足掛かりとしてまいります。



代表取締役社長  
頃安 義弘

## Q 当第2四半期連結累計期間の業績についてお聞かせください。

**A** 当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高10,179百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益1,063百万円（同15.1%増）、経常利益1,237百万円（同24.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益802百万円（同4.4%増）となりました。

ポンプ事業につきましては、主要顧客である石油化学業界において、特に海外での設備投資が再開し始めており、中国市場を中心にケミカル機器モータポンプが堅調に推移したことにより、売上高は増加いたしました。一方、営業利益については、人件費、研究開発費、輸送費等の販売費及び一般管理費の増加により、減少いたしました。

電子部品事業につきましては、足許では世界的な半導体不足等による自動車の減産の影響を受けておりますが、売上・利益ともに低調であった前年同期に比べ、回復いたしました。

これらの結果、当社グループ全体としては、増収・増益となりました。

## Q 今後の見通しはいかがでしょうか？

**A** ポンプ事業につきましては、期首受注残高が低調であったことから、当第2四半期連結累計期間の売上は、主に日本、欧米市場において回復が遅れておりましたが、主要顧客である石油化学業界の設備投資が当第3四半期連結会計期間以降本格化していくと見込んでいます。また、アジア市場、特に中国市場においては新規設備投資需要が旺盛であることから、当期の業績を牽引していくものと予想されます。

一方で、足許においては原材料価格の上昇や中国の電力不足等による影響が懸念され、今後の動向を注視していく必要があります。

電子部品事業につきましては、当第1四半期連結会計期間においては自動車関連の需要回復に伴い堅調に推移しておりましたが、当第2四半期連結会計期間以降、世界的な半導体不足等による自動車の減産の影響を受けており、先行きにおいても不透明感があります。

以上の状況を踏まえて、通期連結業績予想は据え置きとし、売上高20,900百万円、営業利益1,680百万円、経常利益1,830百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,280百万円を見込んでおります。

## Q ポンプ事業の市場の動向についてお聞かせください。

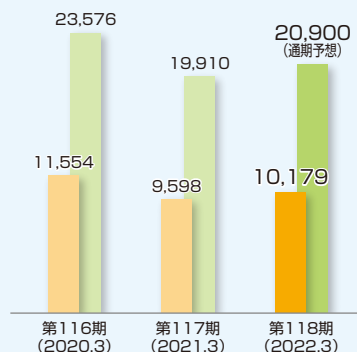
**A** 昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、当社の主要顧客である石油化学業界では大型プロジェクトを中心に計画の見直しが行われる等、新規設備投資が見送られ、老朽化更新やメンテナンス需要が中心となっておりました。

一方、今年に入って以降、徐々に経済活動が再開していく中で、設備維持・更新に加え、新規設備投資についても再開し始めております。

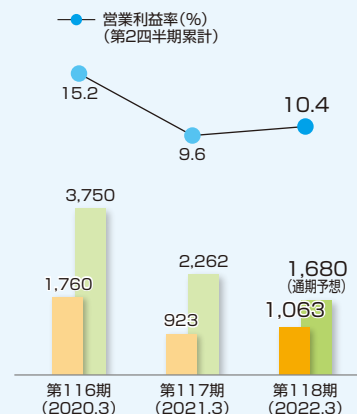
また、従来型石油化学製品に関連する引合に加え、脱炭素の推進等、世界的な環境問題に対する意識の高まりから、再生可能エネルギーや生分解性プラスチック等の環境に配慮した製品に関連する引合が増加しております。

当社製品は、再生可能エネルギー分野やバイオディーゼル、アンモニアの送液等、脱炭素で期待される分野での採用実績も有しており、世界的な環境問題に対する意識の高まりは、当社にとってビジネスチャンスであると捉えております。今後の事業拡大に向けて、このチャンスを逃さず、積極的な提案活動から受注の獲得に努めてまいります。

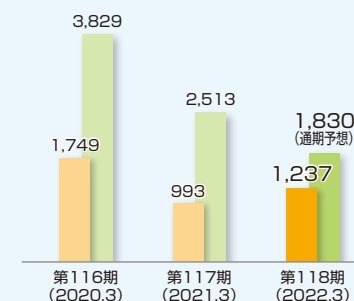
### ■ 売上高



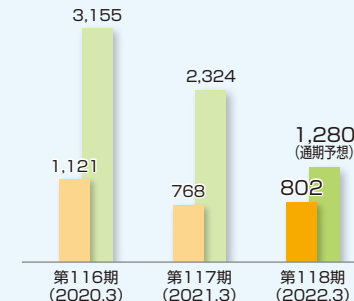
### ■ 営業利益／営業利益率



### ■ 経常利益



### ■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



■ 第2四半期累計 ■ 通期 (単位：百万円)

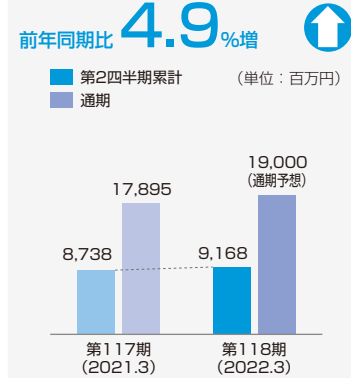
(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## セグメント別事業の概況

### ポンプ事業



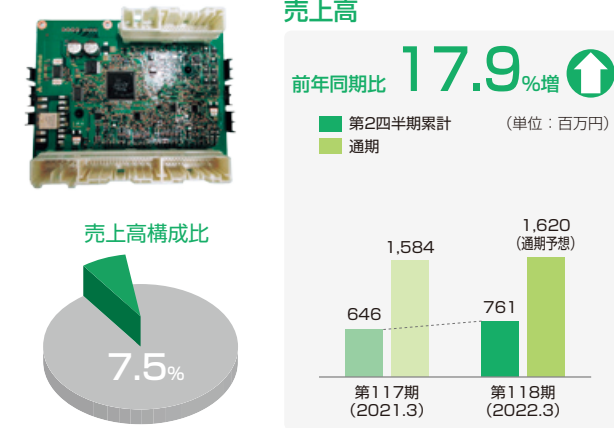
#### 売上高



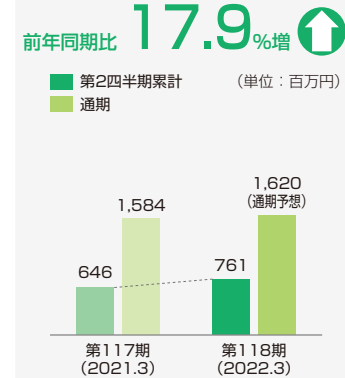
ポンプ事業は、日本市場、東南アジア市場等が減少したものの、中国市場において主にケミカル機器モータポンプが増加したこと等から、堅調に推移しました。

その結果、売上高は9,168百万円（前年同期比4.9%増）、連結売上高に占める割合は90.1%となりました。また、営業利益は、人件費、研究開発費、輸送費等の販売費及び一般管理費の増加により、1,026百万円（同1.0%減）となりました。

### 電子部品事業



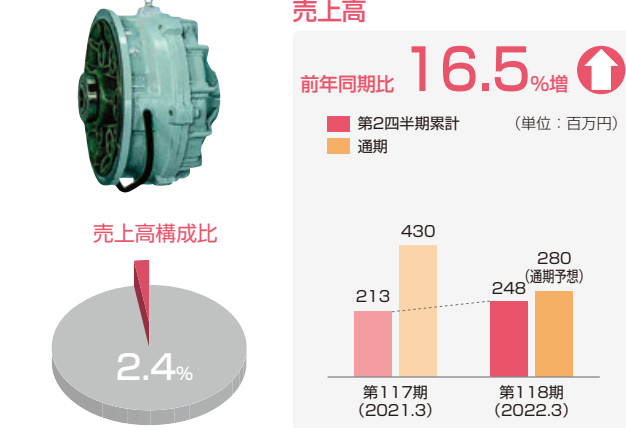
#### 売上高



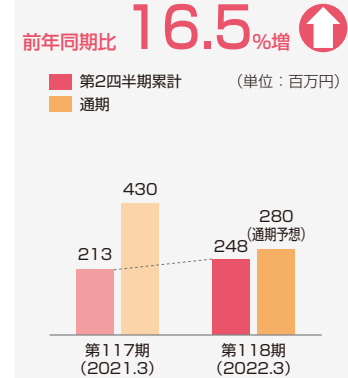
電子部品事業は、売上高は761百万円（前年同期比17.9%増）、連結売上高に占める割合は7.5%となりました。

また、営業利益は、当第2四半期連結会計期間において、自動車の減産による影響を受けたことから、3百万円（前年同期は158百万円の営業損失）となりました。

### その他



#### 売上高



その他は、売上高は248百万円（前年同期比16.5%増）、連結売上高に占める割合は2.4%となりました。

また、営業利益は、売上は増加したものの、粗利率の悪化、販売費及び一般管理費の増加により、32百万円（同28.1%減）となりました。

## TOPICS 1

### 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司独資20周年

当社は、1994年に合併企業として大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立し、中国市場に進出後、2001年に完全子会社化を実現し、本年9月に独資20周年を迎えました。

これまでに累計40万台のキャンドモータポンプを製造販売し、石油化学、高速鉄道、空調機、医療関係等、中国国民生活の幅広い領域を支え、各業界の成長に貢献してまいりました。また、国家に認定された高新技術企業として、多数の特許権等を有しており、これらを活かした研究開発を進めております。ここ数年においては慈善事業にも力を入れ、各種公益活動にも積極的に参加しております。

今後も全社員の社会的責任意識の向上を図りながら、中国キャンドモータポンプ業界のリーディングカンパニーとして更なる発展を目指してまいります。



## TOPICS 2

### 教育制度のご紹介

当社は、人材育成の一環として、新入、中堅社員を対象とし、社員のレベルアップを目的とした経験講座を実施しております。

この講座ではポンプの製造技能のうち代表的な3つの技能である、「機械加工」、「溶接」、「組立」について、座学と実習を組み合わせた教育を実施しております。受講者は講座を通して製造に関する幅広い知識の習得に加え、設計担当者が製造担当者の視点からのアドバイスを受け、製造担当者が自分の担当している工程以外の技能を学ぶ等、新たな気付きを得ることも多いカリキュラムとなっております。

当社は「人材」を重要な経営資源の1つとして捉え、人材育成が企業価値の向上につながると考えております。

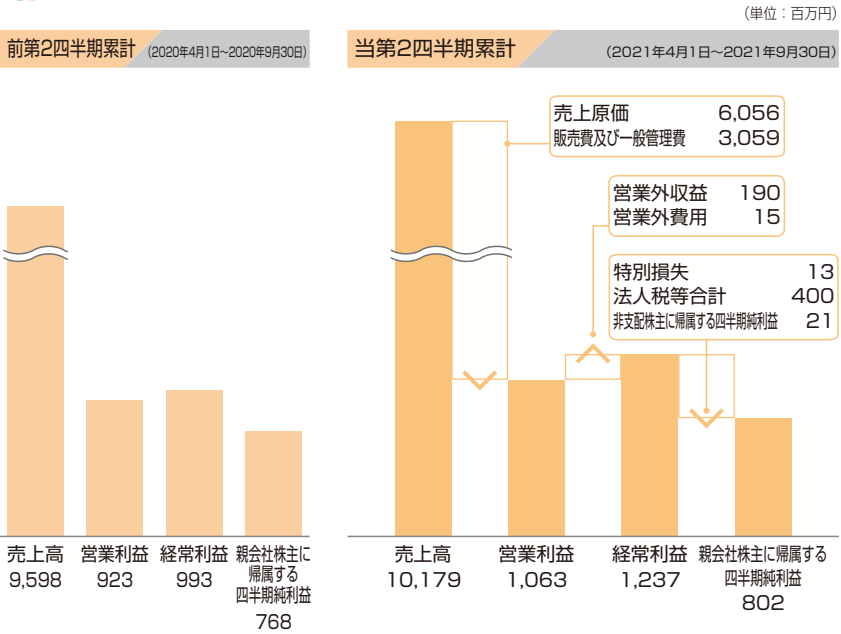
当社は「人材」を重要な経営資源の1つとして捉え、人材育成が企業価値の向上につながると考えております。今後も社員がモチベーションを高めながら幅広く活躍できるよう、教育制度を整備、拡充してまいります。





四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書



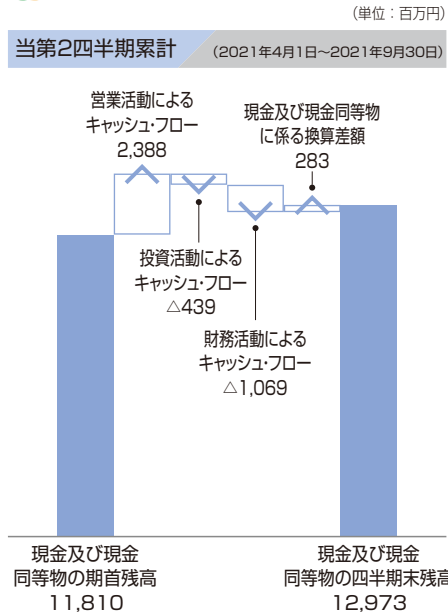
四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
資産の部		
流動資産	24,884	25,962
固定資産	10,746	10,797
有形固定資産	8,367	8,454
無形固定資産	379	273
投資その他の資産	1,999	2,070
資産合計	35,631	36,760

科 目	前期末 (2021年3月31日現在)	当第2四半期末 (2021年9月30日現在)
負債の部		
流動負債	5,716	6,319
固定負債	1,080	1,188
負債合計	6,796	7,508
純資産の部		
株主資本	28,008	27,873
その他の包括利益累計額	659	1,190
非支配株主持分	166	187
純資産合計	28,834	29,252
負債純資産合計	35,631	36,760

四半期連結キャッシュ・フロー計算書



会社情報／株式情報

会社概要 (2021年9月30日現在)

社名	株式会社帝国電機製作所 TEIKOKU ELECTRIC MFG. CO., LTD.
設立	1939年9月12日
資本金	31億4,367万5,150円
従業員数	連結 1,284名 単体330名
本社	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野60番地 Tel. 0791-75-0411 (代表)
ホームページ	http://www.teikokudenki.co.jp/

役員 (2021年9月30日現在)

代表取締役 社長執行役員	頃安 義弘	取締役 (常勤監査等委員)	阿部 孝司
取締役 常務執行役員	舟橋 正晴	社外取締役 (監査等委員)	林 晃史
取締役 常務執行役員	村田 潔	社外取締役 (監査等委員)	川島 一郎
取締役 執行役員	佐藤 哲造	社外取締役 (監査等委員)	沖 剛誠
取締役 執行役員	加減 孝司	執行役員	杉本 洋一郎

グループ会社 (2021年9月30日現在)

国内子会社	・株式会社協和電機製作所 ・上月電装株式会社 ・株式会社帝伸製作所 ・株式会社平福電機製作所
海外子会社	・TEIKOKU USA INC. ・大連帝国キャンドモータポンプ有限公司 * 台湾帝国ポンプ有限公司 ・TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. ・TEIKOKU ELECTRIC GmbH ・TEIKOKU KOREA CO.,LTD. ・HYDRODYNE TEIKOKU(INDIA)PVT.LTD.

(注) \*は大連帝国キャンドモータポンプ有限公司の子会社であります。

株式の状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数	69,200,000株
発行済株式の総数	20,440,038株
株主数	3,591名

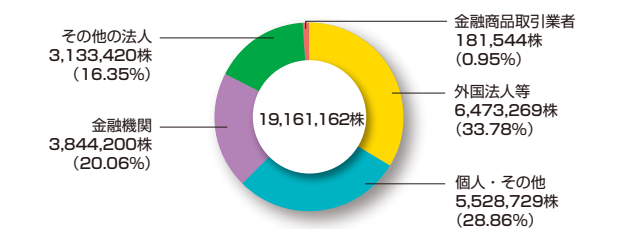
大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
三菱電機株式会社	2,286,400株	11.93%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,812,200株	9.46%
GOLDMAN SACHS & CO. REG	1,464,400株	7.64%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,282,854株	6.70%
株式会社日本カストディ銀行	784,100株	4.09%
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC	700,000株	3.65%
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)SUB A/C NON TREATY	689,000株	3.60%
徳永 耕造	538,900株	2.81%
刈田 耕太郎	453,244株	2.37%
帝国電機取引先持株会	427,800株	2.23%

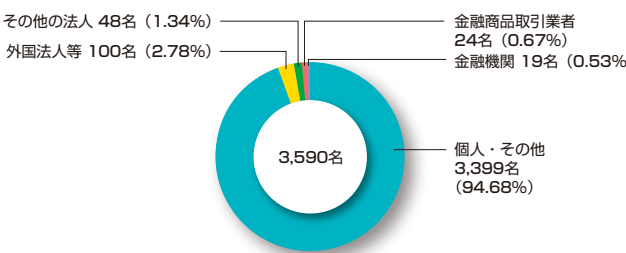
(注) 1.当社は自己株式を1,278,876株所有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
2.持株比率は自己株式を控除して算出しております。  
3.株式会社日本カストディ銀行の所有株式数には、(信託口)、(信託口4)、(信託口7)、(信託A口)、  
(証券投資信託口)、(年金信託口)、(年金持金口)の所有株式数を含めて表示しております。

株式分布状況

所有者別株式分布状況



所有者別株主分布状況



(注)自己株式(1名1,278,876株)を控除しております。